



9月は防災月間です その時、家具は凶器になる。 始めよう 家具の転倒防止！

問合せ先 危機管理室 ☎072・433・7392

大地震が発生すると、転倒した家具やガラスの破片が凶器となり、ケガの大きな要因となります。また、過去の災害では、家具の転倒による圧死で多くのかたが犠牲になっていきます。
「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考え、迫りくる大地震に備え部屋の総点検を行い、自分の命と大切な家族を守るため、この機会に次の対策を講じましょう。

●飛散を防止する

- ①開き扉タイプの食器棚などには、ストッパーを取り付ける。
- ②ガラス扉には、飛散防止フィルムを貼る。
- ③吊り下げ式照明器具の補強を行う。

●その他の対策

- ①家具の上にガラス製品など壊れやすい物を置かない。
- ②地震による漏電火災を防ぐため、感震ブレーカーを設置する。
- ③枕元には、スリッパ・懐中電灯・眼鏡・携帯電話を置く。



ストッパー



突っ張り棒



L字金具

●家具を転倒防止器具などで固定する

- ①壁と家具をL字金具などで固定する。
- ②壁に直接固定できない場合、2種類以上の器具(突っ張り棒式とストッパー式またはマット式)で上下から固定する。
- ③上下が分割している家具は必ず金具で連結する。

防災行政無線の電話応対サービス

災害時の避難に関する情報など、防災行政無線の放送内容が聞こえなかったり、聞き取りにくかったときに、電話で放送内容が確認できます。

電話番号 072・433・7119

※電話番号は自己負担となります。
※放送直後から24時間利用できます。
※定時放送(午後5時前)が市民の歌は、聞くことができます。

人を助けるためにも、まず「自分」が助かることを考えましょう！



保険・年金



年金生活者支援給付金制度

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。
新たに対象となるかたには、8月下旬にお知らせを送付していますので、手続きをお願いします。年金を受給しはじめるかたは、年金の請求と併せて手続きをしてください。受け取りには請求書の提出が必要です。案内や事務手続きは、日本年金機構が実施します。

対象 ①老齢基礎年金を受給し、次の要件をすべて満たしているかた
・65歳以上である
・世帯員全員の市町村民税が非課税である
・年金収入額とその他の所得額の合計が約88万円以下である
②障害基礎年金・遺族基礎年金を受給し、次の要件を満たしているかた
・前年の所得額が約47.2万円以下である
※支給要件を満たす場合、2年目以降の手続きは原則不要です。

ねんきん定期便

国民年金と厚生年金保険の被保険者のかたへ、毎年1回、誕生月に年金加入記録などの情報をお送りしていただきます。これまでこの加入記録や保険料の納付状況を「ねんきん定期便」で確認して、「ねんきん定期便」も利用できます。詳しくは日本年金機構ホームページをご覧ください。
問合せ先 貝塚年金事務所 ☎072・433・1122

40~74歳対象 特定健診は毎年受診しましょう

4月1日時点で、貝塚市国民健康保険に加入されている40~74歳のかたに、5月頃受診券を送付しています。受診券がお手元ない場合、再発行できますのでお問合せください。

なお、4月2日以降に加入されたかたは、申請していただくと受診券を発行します。

受診は、集団か個別(医療機関)のいずれかをお願いします。詳しくは、受診券に同封の案内をご覧ください。



集団健診

◆集団健診

インターネットでも申込みできます。

◆個別健診

下記の医療機関、または府内の特定健診取扱い医療機関で受診できます。持病があり通院しているかたも受診することができます。

青山クリニック	貝塚西出クリニック	なかいクリニック
●あおやまYOUクリニック	●河崎病院	●なかたクリニック
石谷医院	かわなみふじたクリニック	中谷医院
●いずみ診療所	●市立貝塚病院	西居クリニック
磯部胃腸科内科	清名台外科	●にし内科胃腸科
いたに医院	高松内科	水間病院
●いとうクリニック	●竹内小児科内科医院	●宮本脳神経クリニック
●浦川整形外科	たなか整形漢方クリニック	物部小児科・内科
岡本外科	田村医院	ゆかわクリニック
●おさきマテクリニック	●辻本内科・胃腸科	良田医院
●貝塚記念病院	中診療所	●よねざわ内科クリニック

●印は、予約が必要です。

◆職場で健診を受けられたかた

特定健診を受診されないかたで、職場での健診結果を提供していただいた場合は、粗品(いずれか2点)を進呈しています。

詳しくは、お問合せください。



粗品例

申込・問合せ先 国保年金課

☎072-433-7036、FAX072-433-7276

広告